

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2016年4月調査結果-

調査要領

- 調査期間 2016年4月8日～20日
- 調査対象 200社
- 回答企業 99社
- 回収率 49.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の4月の状況を見ると業況DIは、前月より1.4ポイント回復の▲24.2。

2014年4月以来25ヶ月連続マイナス水準で推移している。

業種別では、製造業、卸売業、小売業の3業種において回復した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲20.2と当月に比べ4.0ポイント回復を見込んでいる。

業種別でみると、建設業、小売業、サービス業の3業種において回復が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
業況	▲37.1	▲30.0	▲33.6	▲26.4	▲25.6	▲24.2	▲20.2
売上	▲42.9	▲20.0	▲28.4	▲22.7	▲19.2	▲20.2	▲14.1
採算	▲37.1	▲30.0	▲29.2	▲22.6	▲20.2	▲18.2	▲11.1
仕入単価	▲33.3	▲26.0	▲20.6	▲22.6	▲22.0	▲22.3	▲24.3
従業員	18.1	21.0	15.9	16.1	26.6	21.2	29.3
資金繰り	▲17.1	▲14.0	▲12.4	▲11.3	▲14.8	▲5.0	▲7.0

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
建設	▲21.7	▲30.5	▲54.6	▲27.3	▲26.1	▲30.4	▲21.8
製造	▲27.6	▲23.1	▲14.3	▲14.2	▲23.1	▲11.5	▲11.6
卸売	▲42.9	▲30.0	▲33.3	▲40.0	▲28.0	▲25.0	▲25.0
小売	▲70.6	▲52.6	▲47.6	▲55.6	▲36.8	▲20.0	▲13.4
サービス	▲33.3	▲8.3	▲22.2	0.0	▲12.5	▲40.0	▲33.3

今月のトピックス（業界の声）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減などによる社会資本の整備飽和状態は当然のことながら、公共事業の減少に繋がっている。 しかし、分かっているにもかかわらず現状にしがみついているのが旭川企業の体質なのか？ ・昨年あった大型物件の受注がなかったため、売上は減少した。受注機会は減少傾向にあるため、先行き見通しは悪化する見通し。
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・売上が前年対比 110%で推移。それに伴い採算が好転。要因としては新規顧客が貢献。 ・既存の取引先だけでは売上は減少をたどる一方だが、新規取引先及び販売のチャネルを変えていくことにより売上をキープする事が出来ると思う。その考えを実行したのは 2 年前の事だが試作などを重ね、今ようやく受注の形で売上を上げることが出来るようになった。既存の取引先も大事だが新しい事の取り組みが会社を救うような気がする。 ・インターネットの普及等による紙媒体のマーケットの縮小傾向は変わらない。4 月については、昨年の地方統一選挙という要因が今年はないためそのカバーは難しい。 ・ほぼ前年同程度で事業推移している。ただ前年に比べ発注が遅れており一部不安要素はある。 ・需要期のピークを越えたが、受注残は高水準で推移している。下期への影響が読み難い状況。 ・様子見・市場にまったく動きがなく、この先も市場が活性化する様子ではない。
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業土木関連の発注が多く、関連企業は好転。 ・前年度と同等位の業況 ・昨年 10 月から連続して売上未達成。今度も明るい材料は見当たらずこの傾向は続きそう。 ・不動産（土地・建物）売却で光熱費等の固定費が大幅に圧縮した。観客入込み増加が今後期待できる。紙工品など仕入れの値上げ交渉が続き受け容れるが販売先への転嫁はこの先であり難儀な交渉が続くことも予想される。創業の古いお店が廃業宣言をされ多くの不安を感じる。何が価値あることを伝え自社の存在意義を発揮しなければならない。 ・市内、市外問わず全体的に大きな物件が少ない。今後についてもその傾向が続く見込みである。 ・特段の変化なし
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・春物シーズンに入ったものの、先月に比べ集客数が大幅に減少し非常に厳しい業況。買物公園への客数も少なくなっているように思われます。 ・前年同期に比べ販売価格が下落し、売上減。昨年は暖冬で夏タイヤの出が早く SS の作業収入もあったが、今年は出が遅く作業収入が減ったが、連休を契機に従来どおりに戻る見通し。
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・雪解けが早かったこともあり、例年に比べ現場作業の滑り出しが順調である。 ・雪解けは早いですが、収入は減少。函館新幹線の効果は今のところ見られない。 ・新規ホテルが増えたことで需要が分散。単価下落から減収となっている。 ・3 月中の送別会シーズンは前年度プラスになっていたが、4 月歓迎会はなかなか厳しい状況になっている。 ・旭川方面のホテル状況は非常に厳しく、前年比マイナスが続いている。ホテルに関してはとても厳しいが、病院寝具、一般のホームクリーニングは前年比増で運営している。札幌は海外のお客様が着ているようだが、道北は観光客マイナス。 ・宿泊に関しては今年 1 月より悪い。要因として国内インバウンドも含めて団体客が少ないのと、多少個人行動が見受けられるが昨年とは動きが大きく違う。インバウンドも札幌圏、函館圏を中心に行動が動いているが、旭川、上川圏は特に悪い。ビジネスホテルを含めて人口の割りに夏場は利用が多いが、閑散期の価格帯の乱が心配。 ・年間で一番稼働が悪い月。インバウンドは昨年より若干予約増も国内、ネット予約単価下落傾向。同調せず減収見込み。 ・寒い期間が長く冬物クリーニングの出だしが遅い。ライバル店の出店による売上の悪化。

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI8.7 ポイント回復、採算 DI 横ばい、仕入単価 DI0.1 ポイント回復、資金 DI17.5 ポイント回復、従業員 DI 横ばい。総じて業況 DI は 4.3 ポイント悪化となった。業種別では、総合工事 20 ポイント回復、建築業横ばい、設備その他 38 ポイント悪化となった。大型物件の受注がなかったため売上減。受注機会は減少傾向にあるため先行き悪化の見通しとの声が寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI 横ばい、採算 DI15.4 ポイント回復、仕入単価 DI23.1 ポイント回復、資金 DI7.7 ポイント回復、従業員 DI15.4 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 11.6 ポイント回復となった。業種別では、金属窯業他横ばい、食料品 33 ポイント、印刷出版 10 ポイント、家具木材 17 ポイント回復となった。売上は前年対比 110%で推移。それに伴い採算が好転したとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI1.0 ポイント回復、採算 DI23.0 ポイント悪化、仕入単価 DI34.0 ポイント悪化、資金 DI7.5 ポイント回復、従業員 DI2.0 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 3.0 ポイント回復となった。業種別では、機械鋼材 35 ポイント悪化、繊維 50 ポイント、食料品 7 ポイント、その他 11 ポイント回復となった。農業土木関連の発注が多く、関連企業は好転との声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI7.4 ポイント回復、採算 DI40.7 ポイント回復、仕入単価 DI21.0 ポイント回復、資金 DI6.3 ポイント回復、従業員 DI は 15.4 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 16.8 ポイント回復となった。業種別では、食料品 5 ポイント悪化、その他横ばい、衣料品 67 ポイント、自動車 20 ポイント回復となった。春物シーズンに入ったものの、先月に比べ集客数が大幅に減少し厳しい業況との声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI33.7 ポイント悪化、採算 DI27.0 ポイント悪化、仕入単価 DI15.5 ポイント悪化、資金 DI5.3 ポイント回復、従業員 DI2.5 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 27.5 ポイント悪化となった。業種別では整備業 75 ポイント回復、飲食で横ばい、クリーニング 100 ポイント、運送 100 ポイント、ホテル 55 ポイント、その他 25 ポイント悪化となった。寒い期間が長く、冬物のクリーニングの出だしが遅い。ライバル店の出店による売上悪化との声も寄せられている。</p>